



子ども達の活躍

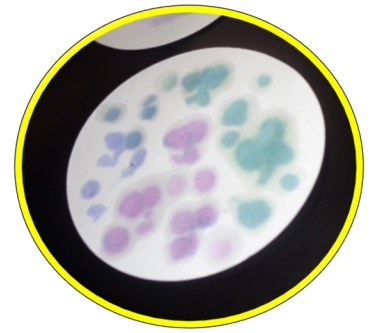
新しい年度の開始です。春休み中には、3年生とのお別れ会をして、今度3年生になる子ども達に児童クラブでの生活の仕方の決まり事や約束事を新しく入ってくる1年生に優しく教えて下さいね、と頼みました。

体も大きくなり、発言力も増し、日々心身成長する小学生に、少しでも楽しい時間と場所を提供して寛いでもらいたいと思います。

昨年度は、新聞に卒園児さんの活躍が度々記事になっていました。朝ドラに俳優として登場した卒園児もいて、とても嬉しかったです。夏休みや冬休み、春休みに大学・短大の先生方の協力を得て、多様な活動を入れているのも、好きなこと、珍しい事、興味深いことに関心を寄せて、チャレンジしてほしいとの願いからです。支援員の先生たちがお知らせする掲示物などにも目を通して下さると幸いです。今年も保護者様方のご理解を頂きながら、さんこう児童クラブの運営をしていきたいと思しますので、ご協力をよろしくお願いいたします。 福元芳子先生

【色水遊びの活動★】

大学生が化学の実験をしてくださいました。紫キャベツ、パンジー、ブルーベリーにそれぞれクエン酸、重曹を付け、色を混ぜたりしながら色の変化を楽しみました。



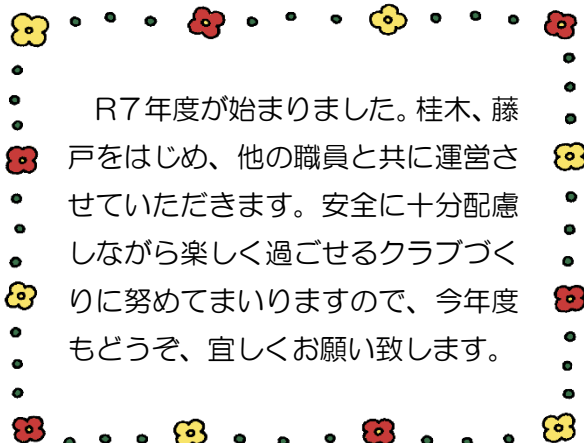
最後に酸とアルカリの濃度の違いがある水(石鹼水、炭酸水等)に紫キャベツの汁を入れると、何色に変化するのを見て楽しみました！綺麗な色に大喜びの子どもたち。最後は大学生に感想を言いました。感じたことを言葉にすることができ、色々な思いで参加していたことがわかりました！

4月の目標

「クラブでの約束事や基本的生活を見直そう」
進級したり、初めて児童クラブで生活したりする中で、流れをつかんだり、安全に過ごせるように、子どもたちと一緒に確認していきたいと思います。

4月の学童児童数

	在籍者数	休所者数	利用者数	そのうち新規入所者数	3月末退所者数
1年生	12	0	12	12	2
2年生	4	0	4	1	1
3年生	14	0	14	3	9
計	30	0	30	15	12



寄稿：西九州大学・西九州大学短期大学の窓から

「自分で奏でる幸せ」

西九州大学短期大学部 幼児保育学科 講師 中島 加奈

3月某日、佐賀で今話題の映画を観に行きました。“年齢・独学・のり漁業との両立”というハンデを乗り越え、限りある時間の中でピアノ演奏の完成を目指した姿に励まされました。と同時に、のりが出来上がる過程にもいたく感動。同じ川副町出身の私にとっては「昔仲良かった〇〇ちゃんちは、こんな大変なお仕事をしてたんだなあ」という新たな発見もありました。

さあ、新年度です。これを読んでいる方の中には、新たな習い事を検討している方も多いことでしょう。保護者世代の習い事といえば習字、水泳、ピアノあたりが王道でしたが、最近は情報誌を見ていると、プログラミングやダンスなどバリエーションが増えたなと感じます。それぞれの興味・関心に応じて選択肢が増えたのはありがたいことです。その一方で、ピアノ教師のひとりとしては、少々寂しさがよぎることも…。

ベネッセコーポレーションの調査によると、習い事としてのピアノ人気は今も上位を占めているようですが、私自身ここ数年、ピアノ経験者が減っていることを肌で感じています。保育者養成校においても、初心者の入学生は少なくありません。中学校でおなじみ合唱コンクールでも、「伴奏できる生徒がいない」という話を聞くこともあります。ピアノは家庭での練習がつきもので、物的な環境も必要なため、色んな意味でハードルが高いのかもしれない。様々なメディアが溢れる中、必ずしも生演奏でなくてはならない場面も減っているのでしょうか…。

ここで思い出すのは、冒頭で述べたのり漁師さんの「おいも弾きたかあ…!」という心の叫び。そう、やっぱり“自分で”弾くっていう所がいいんです。彼にとって“自分の手で奏でた”ということが何物にも代えがたい喜びで、生きている証だったのではないのでしょうか。

楽器の演奏では、眼も耳もフル活用します。さらにピアノでは10本の手指や足を一度に動かします。脳の様々な分野が活性化されるため、楽器の中でもピアノは特に、全身の感覚を一度に統合しているといっても過言ではないでしょう。「脳トレ」の一環で習うご年配もいる中、柔軟な感性を持つ幼少期のうちに始めると効果は倍増です。さらに、好きな作品を弾けた充実感や、自分の近しい人と演奏を通して交流したり気持ちを分かち合えたりするのも、音楽の醍醐味です。小さいうちにそういう喜びを味わってほしい。血の通った音楽にこそ、価値を感じてほしい。そんな願いも込めて、保育士のタマゴ達にピアノを教えています。

習い事を選ぶ際の一助になれば幸いです。